★ご自由にお持ちください

糸でんわ

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
〒173-0015　東京都板橋区栄町35-2
（代表電話）　03-3964-1141
（予約専用電話）03-3964-4890
ホームページ　https://www.tmghig.jp/

第164号　（令和4年7月号）

消化器・内視鏡内科が新しい体制になりました

消化器・内視鏡内科　部長　小野（おの）　敏嗣（さとし）

今年の４月から消化器・内視鏡内科は新しい体制になりました。東京大学消化器内科の医局から千葉西総合病院消化器内科部長であった小野敏嗣部長が赴任し、さらに同じく千葉西総合病院から保坂祥介医長、東京大学消化器内科の医局から深川一史医長が赴任し、常勤７名体制となりました。先進施設で内視鏡を用いた検査や治療を専門に行ってきた医師が増員となったことで、スタッフ一同これまで以上に内視鏡を用いた消化器診療を中心に力を入れていく方針です。新しくなった消化器・内視鏡内科をこれからもどうぞよろしくお願い致します。

消化器・内視鏡内科で扱う病気って？

消化器診療と言われてもあまりイメージしにくいかも知れません。一般的に消化器診療で扱う病気は、胃や大腸などを含めた「消化管疾患」、胆嚢・胆管や膵臓を含めた「胆膵疾患」、そして「肝臓疾患」の三つに大きく分けることができ、さらに、それぞれの中で癌などの「悪性疾患」、それ以外の「良性疾患」に分けられます。（図 1）

どんな検査ができるの？

大腸癌や胃癌、膵癌などは依然として本邦における悪性腫瘍の部位別罹患割合では上位にあり、基本的な治療方針は早期発見・早期治療となります。この早期発見における内視鏡の役割は非常に大きく、高画質化・高性能化した胃カメラ「上部消化管内視鏡（EGD）」や大腸カメラ「下部消化管内視鏡（CS）」によって食道癌や胃癌、大腸癌、場合によっては咽頭癌も従来よりも早い段階で発見できるようになっています。また、胆管癌や膵癌などに対しては「内視鏡的逆光性膵管胆管造影検査（ERCP）」が重要な役割を果たし、身体の奥のほうにある胆管や膵管を造影したり

図 1　消化器・内視鏡内科で主に診療する疾患

細胞を採取したりして胆管癌や膵癌の診断を付けることが可能になりました。さらに、かつては発見すること自体が困難であった小さな膵癌も、胃カメラと超音波検査が一体になった「超音波内視鏡（EUS）」によって比較的早期に発見できるようになってきました。EUS ではそのまま目的の病変に針を刺して組織を採取する「超音波内視鏡ガイド下穿刺吸引法（EUS-FNA）」も可能で、得られた検体を病理評価することで確定診断を付けることもできます（図 2）。

当科では、従来の腹部超音波や CT 検査・MRI 検査にこのような内視鏡を用いた検査を組み合わせることで、これらの「悪性疾患」のみならず「良性疾患」も患者様の負担を最小限にして効率的かつ迅速に診断を行う体制を構築しています。

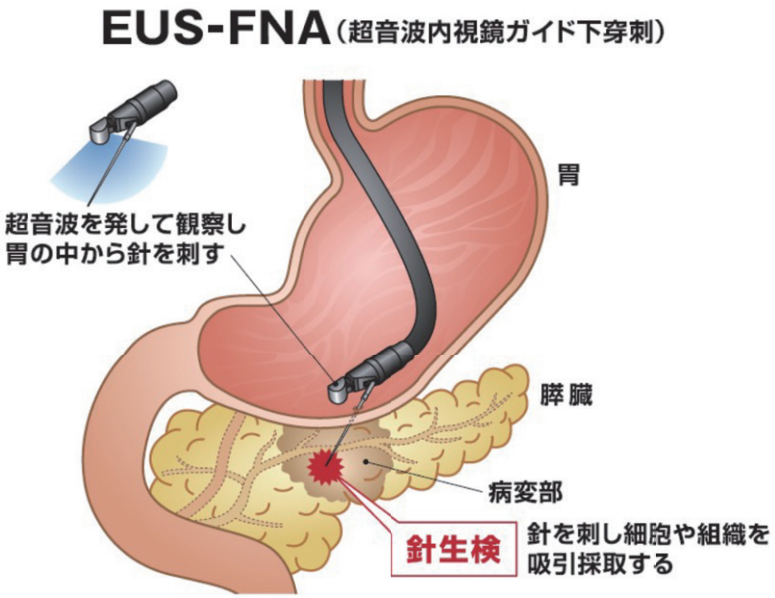


図 2 超音波内視鏡ガイド下穿刺吸引法

どんな治療ができるの？

内視鏡の活躍は消化器疾患の診断だけに留まらず、早期発見された「悪性疾患」を含め様々な疾患に対する低侵襲な治療としても内視鏡は活用されるようになってきています。多くの患者様がご存知のような大腸ポリープを切除したりする治療だけではなく、従来の方法では切除できなかったような消化管の大型腫瘍であっても「内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）」で切除できるようになってきています（図 3）。また、咽頭癌や胃粘膜下腫瘍などのこれまでは外科的切除や放射線治療などしか選択肢のなかった腫瘍に対しても ESD、もしくは内視鏡的切除と外科切除のコラボレーション「腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）」などで治療を行う場面も増えてきています。

胆膵疾患においては ERCP を軸として、そのまま総胆管結石を採石したり、胆管や膵管の狭いところにステントと呼ばれる管を置いてきたりといった治療が可能です。さらに、超音波内視鏡も治療の上では重要な働きを担っています。身体の外側からアプローチしづらい病変に対して、物理的に距離の近くなる消化管の中からアプロー

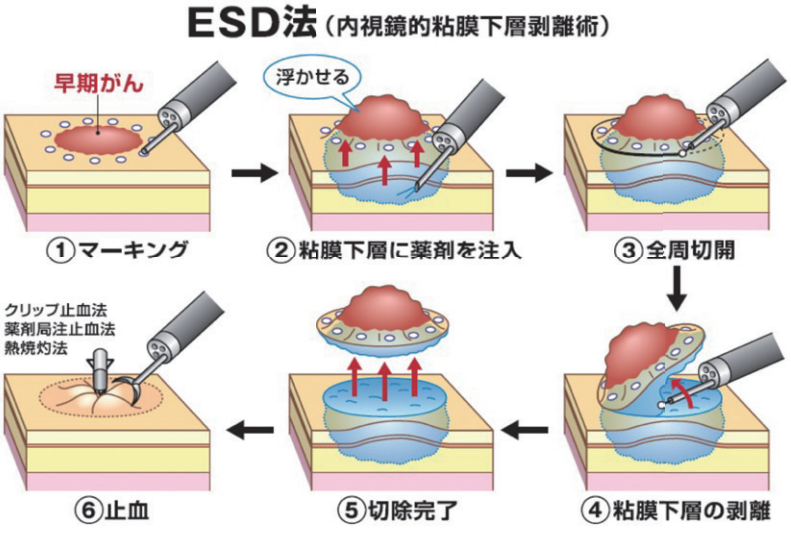


図 3 内視鏡的粘膜下層剥離術

チして、EUS-FNA の技術を応用して穿刺し、ステントを置くことで膿瘍のドレナージ治療を行うことも可能となっており、いずれも従来は手術など身体に負担の掛かっていた治療が内視鏡により負担を最小限にして行えるようになってきています。

消化器・内視鏡内科ではこれらのすべての治療が行える体制をとっています。

内視鏡のほかには？

もちろん内視鏡を用いた診療以外の消化器診療も積極的に行っています。残念ながら早期発見できなかった場合の悪性腫瘍に対しては、外科とも相談のうえで手術療法、もしくは手術療法に先行して抗がん剤治療を行っています。消化器領域の抗がん剤治療の最近の進歩は目覚ましく、特に大腸癌ではかつてよりも良好な予後が期待できる薬剤が開発されてきています。これらの複数の薬を組み合わせて行う抗がん剤治療を、最新の知見を踏まえながら患者様ひとりひとりの状況に合わせて選択して治療を行っています。

また、肝疾患についても、消化管疾患・胆膵疾患同様に取り組んでおります。スタッフが増員したことで今後は日本肝臓学会認定施設となる見込みとなっており、従来から行っていた B 型肝炎・C 型肝炎・非アルコール性脂肪肝炎（NASH）などの慢性肝疾患の定期検査やウイルスの駆除だけではなく、これらの慢性肝疾患を背景に発生する可能性のある肝癌に対しての低侵襲治療として、「ラジオ波焼灼術（RFA)」や「肝動脈化学塞栓術（TACE)」なども東京大学消化器内科との連携のうえで積極的に行っていく方針です。

これからもよろしくお願いします

新しい体制となった消化器･内視鏡内科での診療･治療内容を簡単に説明させて頂きましたが、限られた紙面の中では十分説明できてない点もあるかと思います。もしご自身の体調で消化器疾患かもと思うような不安などありましたら、ご相談だけでも是非受診してみて下さい。みなさまの不安を少しでも軽減できるようスタッフ一丸となって対応させて頂きますので、今後とも健康長寿医療センター消化器・内視鏡内科をどうぞ宜しくお願い致します。

がん相談支援センターだより・臨床心理士編
～がんにまつわるいろいろな悩みにお答えします～

緩和ケア内科　臨床心理士（公認心理師）　小野（おの）　恵里香（えりか）

「がん相談支援センター」では、がんにまつわるすべての不安や心配事に、各種専門職が知識を生かして応えるべく活動を行っています。今回は、臨床心理士より、心の不調や悩み事への対処について、Q&A 形式でお話したいと思います。

普段は、入院中のがん治療や症状緩和治療を行っている方のケアについて医師や看護師とともに話し合いながらサポートをしています。また、当院の緩和ケア病棟入院相談外来に同席し、患者さんやご家族がより良い選択ができるよう気がかりや心配事を整理するお手伝いもしています。

よくお話にあがる悩み事について

がんの診断を聞いて頭が真っ白。
どうしたらいいですか？

結果を聞いて驚かれましたよね、まずは深呼吸。医師からの病気の説明をよく覚えていないことや食事が手につかないこと、眠れないことも皆さん経験されます。あなたがこれからどういったことを経験していくことになるのか、医師や看護師に見通しや気になる事を次回の来院で尋ねてみるのも 1 つです。**診断された時にどうしてよいかわからないという方に向けて書かれた冊子（がん情報サービス発行）が、がん相談支援センターや外来（化学療法室前）に置いています。一度ご覧になってはいかがでしょうか。**

出典「国立がん研究センターがん情報サービス」

１階８番　がん相談支援センター

「再発した」と聞いてショックだった。
どうしたらいいですか？

今後についてさまざまな思いがよぎるかと思います。病気や治療の説明、症状の解決策で分からないことは医師や看護師に確認しましょう。不安を感じたり未来を考えて辛くなるのも当然のお気持ちです。あなたを心配し気遣ってくれる存在はいますか？**病院の職員、家族や友人に話してもいいと思えた時には話してみましょう。泣いてしまっても大丈夫。次回診察でご家族や親しい人に同席してもらうのも１つです。**

心配でインターネットや本で色々調べてしまう。
どうしたらいいですか？

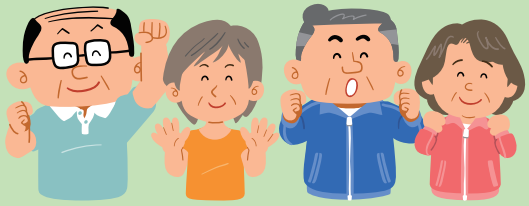
ご自分の病気に関する情報を調べて、少しでも解決しようと取り組むあなたの姿勢自体は間違っていないと考えます。ただし、多すぎる情報は、あなたの不安をかえって強くしているかもしれません。**「今のあなた」にとって優先して取り組むことは何でしょうか。生活の中でどう変わることを期待して調べているのか、立ち止まって考えてみませんか。がん相談支援センターに連絡して一緒に考えてもらうのも１つです。**

オンライン開催　第161回老年学・老年医学公開講座

健康長寿の秘訣！
フレイル予防を学びましょう！

YouTube公開期間 令和4年7月1日(金)
11時30分から令和4年12月末まで

詳細は下記をご覧ください
https://www.tmghig.jp/research/lecture/gerontology/



皆様からのご意見にお答えします

●紹介状なしで受診すると 5,000 円かかると知らなかった。

→厚生労働省は医療機関相互の役割分担及び業務連携の推進をしており、センターにおいても紹介状なく初診でご受診をされる際には、救急搬送時などを除き 5,000 円を選定療養費として頂戴しております。選定療養費につきましては、ご受診の前に必ずご説明をしておりますが、今後も十分なご説明を徹底してまいります。

●第二駐車場に券を取って入ったが、「満車」で停められず、そのまま出た。精算金の支払いはなかったが、時間短縮のためにも入る前に「満車」が、わかるようにしてほしい。

→ご意見ありがとうございます。第二駐車場前に満空表示板がございますが、定期的に係員が巡回し、満車の場合はカラーコーンを置くなど一目でわかるような対応を行ってまいります。

予約専用電話　☎ 03-3964-4890　平日 9：00 ～ 17：00

WEB 予約申込

スマートフォン・パソコンから 24 時間申し込み可能です

詳しくは、センターのホームページをご覧ください。

交通案内（アクセス）

東武東上線　大山駅
南口・北口より徒歩 4 分

都営地下鉄三田線板橋区役所前駅
A3 出口より徒歩 11 分

「糸でんわ」編集事務局　03-3964-1141（内線1239　広報担当）